

ナースレター

2015年5月末
NO. 37
発行責任者
川崎協同病院
看護管理室



ニューヨーク「NPT 再検討会議」行ってきました！

平和への熱い想いが詰まった署名を国連に届けるために4/25～4/30の6日間ニューヨークに行ってきました。

私達はマンハッタンにあるセントラルパーク近辺で署名活動を行い3時間で約60筆の署名を集めました。多忙なニューヨーカーは東京都内で働く日本人に似て、足を止めて話を聞いて下さるかたは多くはなかったですが、それでも「平和への思いは同じよ」と快く署名し名刺交換もできたケースもありました。シカゴ大学の教授の女性から「全員とはいわないまでも『多くの』アメリカ人は核兵器、戦争は反対している。」と教えていただきました。その言葉は私達の平和への想いを一層強くし、そしてとても励まされました。署名のお礼にと一緒に折り鶴を渡すとみなさんととても喜んでくれ、中には「お金を払うからその千羽鶴をください！」という外国人大学生もいるほどでした。他国では折り鶴は「ピースバード」と呼ばれているそうで平和の象徴としてのマスコットは世界共通なのだと嬉しく思いました。

「みんなで世界の平和を願おう！」そんな気持ちでユニオンスクエアから国連近くのハマショルド広場までパレードしました。警備する警察官やパレードを沿道で見ている人達もいましたが、日本と違い私達のシュプレヒコールに笑顔で声を合わせる一般人や警察のかたもいてちょっと驚きでした。広島市長、長崎市長も広場で演説を行い「NO MORE HIBAKUSHAS」を訴えました。

藩基文事務総長は「これらの署名は我々に市民社会が力強い希望と期待を持っている。軍縮のチャンピオンに感謝」したことを紹介し、代表団の行動が国際政治に大きなインパクトを与えており、今後の代表団の活動のひとつひとつを成功させ、その後の世界大会に向けた取り組みに発展させる事を呼びかけました。彼らの言葉はこれからきっと平和への羅針盤になると信じています。

これまで多くのカンパの協力、また快く送り出して頂けた事をとても感謝しています。ありがとうございました。

今後も平和の為に何が出来るかを考え行動していきたいと思えます。♥♥♥ 川崎協同病院 5階病棟看護師 M・M ♥♥♥



☆☆☆ NPTって なーにと思っているあなたに…… NPT一口メモ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

その1…米・英・仏・ロ・中の5カ国などが保有する核兵器は、未だに世界に約1万7,300発も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていません。こうした中で我が国をはじめ世界の多くの国々は、核兵器廃絶に向けた国際世論の形成や具体的な取り組みを進めてきました。その大きな一つが国連での核兵器不拡散条約（NPT）の取り組みです。

その2…核兵器不拡散条約とは、1968年7月1日からスタートした核兵器の開発、製造、保有を規制し、核兵器保有国の増加を防ぐことを目的とした国際条約です。

編集後記 看護学校時代 看護学連という看護学生の全国的な組織があり、スローガンが「傷ついた兵士を見るより平和な日本を……」でした。あれからもう40年が過ぎてしまいましたが、いま憲法を守ることが本当に大切と感じるのは私だけでしょうか。(S)